平成 26 年 3 月 20 日

各　　位

会社名　株式会社柿安本店
代表者の役職・氏名　代表取締役社長　赤塚　保正
（ＪＡＳＤＡＱ　コード番号　２２９４）
問合せ先　専務取締役　赤塚　義弘
ＴＥＬ　０５９４—２３—５５００

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 2 月期（平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日）において、通期業績の予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．平成 26 年 2 月期 通期業績予想数値の修正（平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日）

① 連結業績　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）(平成 25 年 10 月 10 日発表)	42,499	2,619	2,635	1,414	113 円 64 銭
今回修正予想（B）	42,546	2,162	2,202	1,141	93 円 17 銭
増減額（B－A）	47	△456	△433	△273	－
増減率（%）	0.1	△17.4	△16.4	△19.3	－
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 2 月期)	42,684	2,617	2,677	1,309	105 円 18 銭

② 個別業績　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）(平成 25 年 10 月 10 日発表)	42,321	2,523	2,552	1,480	118 円 95 銭
今回修正予想（B）	42,319	2,069	2,118	1,205	98 円 44 銭
増減額（B－A）	△2	△454	△433	△274	－
増減率（%）	△0.0	△18.0	△17.0	△18.6	－
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 2 月期)	40,017	2,266	2,391	1,162	93 円 42 銭

２．修正の理由

① 連結

政府の経済政策や金融政策に対する期待感から、消費マインドに変化が見られはじめているものの、平成26年4月からの消費税の引き上げを控え、消費者の節約志向は強い状況が続いております。

食関連業界におきましては、加えて、食中毒や異物混入をはじめ、食の安全への更なる強化が求められております。

このようななか、売上高は精肉、和菓子事業セグメントが好調に推移し計画通りとなりましたが、足元は回復傾向にあるものの、利益貢献度の高い惣菜事業セグメントの通期売上は低調な結果となりました。

また、消費税引き上げ後の集客力強化策として、店舗の新規出店や改装の拡大・前倒し、商品の刷新準備等を進めるとともに、今冬場の国内におけるノロウィルスによる食中毒事故多発を受け、店舗厨房設備の特別メンテナンス、店舗・工場従業員を対象とした検査回数増など、食の安全対応を強化いたしました。

この結果、通期連結売上高は42,546百万円、営業利益は2,162百万円、経常利益は2,202百万円、当期純利益は1,141百万円となる見込みであります。

② 個別

個別業績予想につきましては、連結と同様な理由により、売上高は42,319百万円、営業利益は2,069百万円、経常利益は2,118百万円、当期純利益は1,205百万円となる見込みであります。

（注）上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以　上